

バンダイこどもアンケートレポート Vol.254

「小中学生のスポーツに関する意識調査」結果

- TOPIC①: 小中学生が好きなスポーツ選手は、2年連続で総合1位「大谷翔平選手」！
最近の活躍が著しい「大坂なおみ選手」が初のTOP3入り！
- TOPIC②: 体育の授業以外でスポーツを行っている子どもは6割。
総合TOP3は、5年連続で1位「水泳」、2位「サッカー」、3位「テニス」。
- TOPIC③: スポーツにかかる年間費用の平均金額は51,001円で、昨年をわずかに下回る。(昨年 51,478円)
- TOPIC④: 子どものeスポーツの認知度は約5割。
「大会に出たことがある」「観戦したことがある」という子どもは3.1%という結果に。
- 総括 : バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(本社:東京都台東区、代表取締役社長:川口勝)は、子どもの「スポーツ」に対する意識の実態を探るため小学1年生～6年生、中学1年生～3年生の子どもを持つ親*900人を対象に、「小中学生のスポーツに関する意識調査」を実施しました。調査結果を以下の通り発表いたします。

<実査期間2019年8月23日(金)～25日(日)> ※子どもと一緒に回答できる方

TOPIC①: 小中学生が好きなスポーツ選手は、2年連続で総合1位「大谷翔平選手」！
最近の活躍が著しい「大坂なおみ選手」が初のTOP3入り！

【好きなスポーツ選手】(単一回答)

男女総合TOP10 (n=900)			
1位	大谷翔平	(野球)	9.3%
2位	羽生結弦	(フィギュアスケート)	7.0%
3位	大坂なおみ	(テニス)	6.7%
4位	錦織圭	(テニス)	5.2%
5位	浅田真央	(フィギュアスケート)	5.0%
6位	八村塁	(バスケットボール)	4.3%
7位	池江璃花子	(水泳)	4.2%
8位	サニブラウン・ハキーム	(陸上)	3.3%
9位	久保建英	(サッカー)	3.1%
10位	本田圭佑	(サッカー)	2.7%

男子TOP5 (n=450)			
1位	大谷翔平	(野球)	13.1%
2位	錦織圭	(テニス)	6.0%
3位	久保建英	(サッカー)	5.1%
4位	本田圭佑	(サッカー)	各4.9%
	サニブラウン・ハキーム	(陸上)	

女子TOP5 (n=450)			
1位	大坂なおみ	(テニス)	10.4%
2位	羽生結弦	(フィギュアスケート)	9.8%
3位	浅田真央	(フィギュアスケート)	8.7%
4位	池江璃花子	(水泳)	7.3%
5位	大谷翔平	(野球)	5.6%

好きなスポーツ選手について聞いたところ、2年連続で総合1位が「大谷翔平選手」、2位が「羽生結弦選手」となり、昨年に引き続き安定の人気の表れた結果になりました。また、「大坂なおみ選手」が初のランキング入りで総合3位となったほか、6位「八村塁選手」、8位「サニブラウン・ハキーム選手」、9位「久保建英選手」が同じくランキング初登場でTOP10入りを果たしました。前述の選手たちを選んだ理由としては、「世界で活躍していてカッコいい」などの声が多く見られ、海外を拠点に活躍し、日本のスポーツ界をけん引する若手選手たちに、子どもたちも注目していることがうかがえます。また、「池江璃花子選手」は昨年からランキングを1つ上げた総合7位となり、女子のTOP5にもランクインしました。男子は総合と同じく「大谷翔平選手」が1位を獲得。女子は、「大坂なおみ選手」が初登場で1位となったほか、2位は「羽生結弦選手」、3位は「浅田真央選手」がランクインし、フィギュアスケートの人気の強さがうかがえました。

TOPIC②: 体育の授業以外でスポーツを行っている子どもは **6割**。

総合 TOP3 は、5 年連続で 1 位「水泳」、2 位「サッカー」、3 位「テニス」。

【体育の授業以外で行っているスポーツ】(単一回答)

男女総合TOP10 (n=900)		
1位	水泳	17.9%
2位	サッカー	8.4%
3位	テニス	5.6%
4位	野球 ダンス(チアリーディング等含む)	各3.2%
6位	卓球	3.1%
7位	バスケットボール	2.3%
8位	バドミントン 陸上競技	各2.2%
10位	バレーボール	2.1%

男子TOP5 (n=450)		
1位	水泳	16.9%
2位	サッカー	15.1%
3位	野球	6.0%
4位	テニス	5.3%
5位	卓球	3.6%

女子TOP5 (n=450)		
1位	水泳	18.9%
2位	ダンス(チアリーディング等含む)	6.2%
3位	テニス	5.8%
4位	バレーボール	2.9%
5位	卓球	2.7%

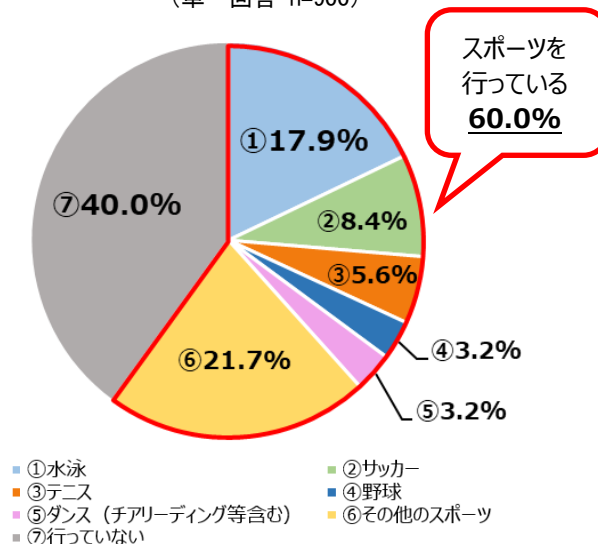
「体育の授業以外でスポーツを行っているか」を聞いたところ、「何らかのスポーツを行っている」と回答した子どもは6割でした。

行っているスポーツについては、総合TOP3は5年連続で1位「水泳」(17.9%)、2位「サッカー」(8.4%)、3位「テニス」(5.6%)となり、男女別でも、ともに1位は「水泳」(男子: 16.9%、女子: 18.9%)で、水泳の根強い人気うかがえる結果になりました。さらに、「卓球」が昨年の総合8位から順位を上げて、総合6位に。男女のTOP5にもランクインし、最近の日本選手の活躍が影響しているのではないかと推察されます。

また、子どもと親それぞれに、そのスポーツを行っている理由(複数回答)を聞いたところ、子どもの意向では1位が「そのスポーツが好きだから」(48.3%)、親の意向では1位が「体力作り」(44.4%)となりました。(後述:4頁 参考データ③参照)

【体育の授業以外でのスポーツ関与状況】

(単一回答 n=900)



TOPIC③: スポーツにかかる年間費用の平均金額は **51,001 円**で、昨年をわずかに下回る。(昨年 51,478 円)

【行っているスポーツにかかる年間の平均金額】(数値回答)

全体の平均金額とスポーツ別(TOP5)の平均金額					
全体	水泳	サッカー	テニス	野球	ダンス (チアリーディング等含む)
¥51,001	¥48,122	¥56,147	¥48,940	¥74,931	¥51,059

体育の授業以外にスポーツを行っていると回答した子どもの親に、スポーツにかかる年間の金額を聞いたところ、全体の平均金額は51,001円となり、昨年の51,478円をわずかに下回る結果になりました。また、行っているスポーツTOP5のスポーツごとの平均金額を見ると、野球が74,931円でTOP5の中では最も高くなり、水泳が48,122円でTOP5中、最も低くなりました。用具を多く使用するなど、スポーツの種類によっても、年間でかかる金額に差が出てくることが推察されます。

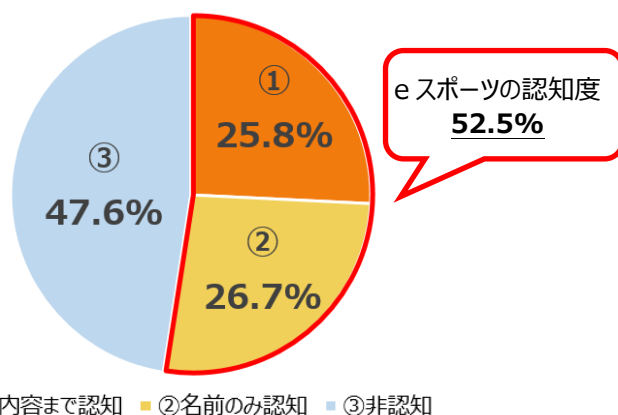
TOPIC④： 子どものeスポーツの認知度は約 5 割。

「大会に出たことがある」「観戦したことがある」という子どもは 3.1%という結果に。

子どもにeスポーツ※の認知度について聞いたところ、「内容まで知っている」「名前知っている」と回答した人は52.5%で過半数を超える結果になりました。一方、実際に「大会に出たことがある」「観戦したことがある」子どもは3.1%という結果になり、eスポーツの認知は広がってきているものの、実際に取り組んでいる子どもはまだまだ少ないことがわかりました。(後述:5頁 参考データ④参照) また、10.1%が「eスポーツの内容を知っていて、観戦経験はないが、興味はある」と回答しており、これからさらにeスポーツに取り組む子どもが増えていくのではないかと推察されます。

【eスポーツの認知度】

(単一回答 n=900)



※eスポーツ: コンピューターゲーム、ビデオゲームを使ったスポーツ競技を指す「エレクトロニック・スポーツ」の略

【バンダイからのコメント】

「スポーツ」に関するアンケートは今年で5回目を迎えました。「好きなスポーツ選手」のランキングでは、2年連続で野球「大谷翔平選手」が総合1位となり、根強い人気を表れる結果となりましたが、一方総合3位の「大坂なおみ選手」を始め、「八村塁選手」「サニブラウン・ハキーム選手」「久保建英選手」など、ランキング初登場の選手が多くTOP10入りしており、新世代の選手たちの活躍に2020年に向けての期待が高まる結果となりました。

また、今回の調査では、初めて「eスポーツ」に関するアンケートを実施しました。近年急速に普及してきていることもあり、子どものeスポーツに対する認知度は過半数を超えることがわかりました。「取り組んだことはないが、興味はある」という声もあり、これからさらに普及していくのではないかと思います。

eスポーツも含め、新たに普及してきているスポーツも増えていきますので、子どもたちには、これまで以上にさまざまなスポーツに挑戦して欲しいと思います。

■ 調査概要

【調査目的】 子どもの「スポーツ」への関心や意識・実態を探る

【調査地域】 全国

【対象者条件】 小学1年生～6年生、中学1年生～3年生の子どもを持つ親(25歳～59歳)

※子どもと一緒に回答できる方

【調査手法】 インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)

【実査期間】 2019年8月23日(金)～8月25日(日)

【サンプル数】 900人

【本調査構成】

	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
男子	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人
女子	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人

参考①: 体育の授業以外で行っているスポーツ(過去3年分) (単一回答 n=900)

2018年 男女総合TOP10			2017年 男女総合TOP10			2016年 男女総合TOP10		
1位	水泳	15.7%	1位	水泳	16.4%	1位	水泳	17.6%
2位	サッカー	8.9%	2位	サッカー	8.9%	2位	サッカー	7.2%
3位	テニス	5.0%	3位	テニス	6.0%	3位	テニス	5.4%
4位	バスケットボール	4.0%	4位	卓球	4.1%	4位	野球	4.0%
5位	野球	3.9%	5位	バスケットボール	3.2%	5位	バスケットボール	3.4%
6位	ダンス (チアリーディング等含む)	3.7%	6位	ダンス (チアリーディング等含む)	3.0%	6位	卓球	3.3%
7位	陸上競技	3.1%	7位	野球	2.8%	7位	ダンス (チアリーディング等含む)	3.0%
8位	卓球	2.8%	8位	バドミントン	2.7%	8位	陸上競技	2.1%
9位	バレーボール	2.0%	9位	バレーボール	2.6%	9位	バレーボール	各2.0%
10位	バドミントン	1.9%	10位	陸上競技	2.2%	9位	体操・新体操	

参考②: 好きなスポーツ選手(過去3年分) (単一回答 n=900)

2018年 男女総合TOP10			2017年 男女総合TOP10		
1位	大谷翔平 (野球)	10.7%	1位	浅田真央 (フィギュアスケート)	7.9%
2位	羽生結弦 (フィギュアスケート)	8.2%	2位	錦織圭 (テニス)	7.8%
3位	浅田真央 (フィギュアスケート)	6.4%	3位	羽生結弦 (フィギュアスケート)	5.9%
4位	香川真司 (サッカー)	各4.2%	4位	本田圭佑 (サッカー)	5.2%
	本田圭佑 (サッカー)		5位	大谷翔平 (野球)	5.1%
	錦織圭 (テニス)		6位	イチロー (野球)	4.7%
7位	イチロー (野球)	4.0%	7位	香川真司 (サッカー)	4.3%
8位	池江璃花子 (水泳)	2.8%	8位	本田真凜 (フィギュアスケート)	4.1%
9位	本田真凜 (フィギュアスケート)	2.4%	9位	ウサイン・ボルト (陸上)	3.7%
10位	内村航平 (体操)	2.0%	10位	福原愛 (卓球)	2.6%

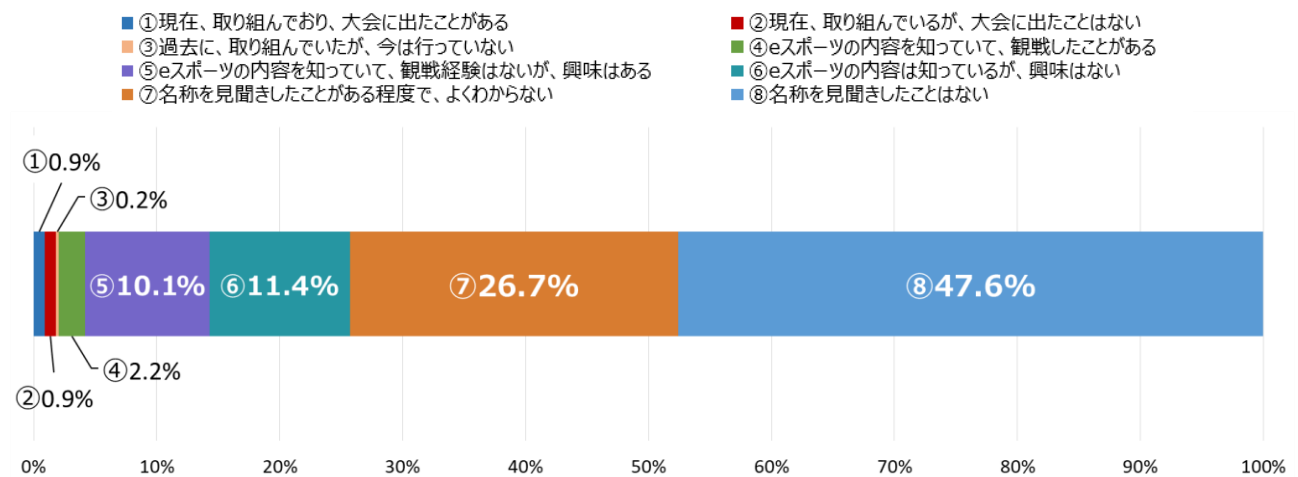
2016年 男女総合TOP10		
1位	錦織圭 (テニス)	10.6%
2位	浅田真央 (フィギュアスケート)	8.1%
3位	羽生結弦 (フィギュアスケート)	5.4%
4位	福原愛 (卓球)	5.3%
5位	ウサイン・ボルト (陸上)	4.8%
6位	イチロー (野球)	3.8%
7位	内村航平 (体操)	各3.7%
	本田圭佑 (サッカー)	
9位	大谷翔平 (野球)	3.6%
10位	萩野公介 (水泳)	3.1%

参考③: 体育以外のスポーツを行っている理由(2019年)

(複数回答 n=540 ※スポーツをしている子どもを持つ人ベース)

子どもの意向			親の意向		
1位	子どもがそのスポーツが好きだから	48.3%	1位	体力作り	44.4%
2位	体力作り	33.0%	2位	親がそのスポーツが好きだから	9.3%
3位	友達・兄弟がやっているから	22.8%	3位	礼儀を身につけてほしいから	8.7%
4位	親がそのスポーツが好きだから	7.2%	4位	親が経験者だから	8.3%
5位	親が経験者だから	6.9%	5位	(お子さまの)友達・兄弟がやっているから	7.4%

参考④：子どものeスポーツ認知度について(2019年) (単一回答 n=900)



こどもアンケート: <https://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイ公式サイト: <https://www.bandai.co.jp/>

**次回 バンダイこどもアンケート
11 月下旬「今年のクリスマスに関する意識調査」配信予定**